

學校が數多く設けられてゐますから、子供を入學させるにしても何の心配もありません。我が國では中學校入學難が盛んなやうで、殊に宅の子供は幼稚園生活を經て居りませんものだから、尙更心配致して居ります。都下で有名な小學校は大層入學試験がむづかしく、幼稚園を卒業した子供でも、可成り難關であるやうに思はれますし、また互ひに競争する結果、教師に贈物などしても運動する等といふ事を耳にいたしました。こんな風では誠になげかはしいことゝ存じます。私共は外國に生活した關係もございませうから、語學に重きを置き、基督教的主義のある學校を選ぶつもりで居ります。其上、小學校と中學校と連續してゐる學校でございましたら、同じ教育の方針に教育して頂くことが出来ると思つて居ります。この三つの大きな條件で學校を選びたいでございます。經驗もない者でございますから、皆様の御意見を伺ひたいと思つて居ります。

六大都市の乳兒調査開始

乳兒の死亡率が毎年高くなつて最近の六大都市に於ける一才未満の死亡率だけでも大阪の百人に對して二十七を筆頭に神戸市二十六京都市の二十一、横濱市の二十、東京の十九、名古屋の十七の順序であつて

世界を通じて日本ほど死亡率の激増する國はないので今や日本は乳兒死亡國とまで呼稱されてゐるので斯かる憂ふべき傾向は國家の基礎を覆へすべきものであるから今の内に何等かの具體的の豫防策を講究しなければと内務省衛生局では調査費十五萬圓の中から幾萬の調査費用を割いて愈々來る九月から死亡率の激増、出生率の激減の原因に就て六大都市の乳兒調査を開始する事になつた、夫れで第一著としては東京市から始め死亡率の方は全市悉く、産兒の榮養、養育状態は特に市内人口密集せる深川、本所、下谷、淺草の不衛生地區を選定して衛生局の方では調査課の宇上技師が調査主任となつて調査員を各區に一名乃至兩名宛を設置し市役所、區役所、警察署と連絡を取り

各區で區役所へ乳兒の死亡届けのある毎に死亡原因を調査する方針を採つて約一ケ年に亘り調査し大體の都市に於ける乳兒の死亡率を知悉して漸次同方針の下に他の五大都市にも及ぼすが特に横濱のある區劃を限定して家庭の保健調査をも序に行ふ事となつた右に就て潮衛生局長は語る「何しろ始めて遣る仕事だから調査員の粗瀆のない様に調査知識の涵養のために

講習會を開いて夫々試みに八月第一回を遣らし九月から本式に著手するが其方法は死亡があつたと聞けば直に懇篤なる書狀を家族に宛て何卒死亡原因を調査員に腹藏なく御話しを願ふの意味をかき送つて書狀のあとから調査員を遣らして調査する大抵各區で五人平均で乳兒が死亡するから擔當も毎日五人平均を調査させる、此の結果勤くとも豫防策の曙光を認定する事が出来ると思ふ」